

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は、2025年(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2 練習について

- (1) サブトラックは、トラック競技、跳躍競技、砲丸投、やり投の練習のみに利用する。
- (2) 棒高跳の練習は本競技場で行う。
- (3) 円盤投、ハンマー投の練習は、原則として競技日の球技場のみとし、競技役員の指示に従い、安全に注意して行う。

## 3 招集について

- (1) 招集所は100mスタート地点横の器具庫内に設ける。
- (2) 各種目の招集完了時刻は次の通りとする（時間に遅れた者は棄権とみなす）。

1500m予選	1組	競技開始15分前
	2組	競技開始10分前
	3組	競技開始時刻
4×100mR予選 4×400mR予選	1組	競技開始20分前
	2組	競技開始15分前
	3組	競技開始10分前
	4組～5組	競技開始5分前
上記以外のトラック種目の予選	1組～3組	競技開始15分前
	4組～7組	競技開始5分前
全てのトラック種目の準決勝・決勝	—	競技開始15分前
全てのフィールド種目	—	競技開始30分前

- (3) 混成競技においては各日の第1種目は上記の規定で行うが、第2種目からは各種目の競技を行う場所に20分前には集合すること。
- (4) 招集の方法については次の通りである。
  - ① 招集開始時刻（招集完了時刻10分前）に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際アスリートビブス・スパイク・商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰レーンナンバーカードを受け取る。
  - ② 招集は必ず本人が行うこと。但し、出場する競技の時間が重なる場合には、必ず「多種目同時出場届出用紙」を招集所に提出し、当該競技の審判にもその旨を申し出て、指示に従うこと。
  - ③ トラック競技において、棄権する場合は招集所に棄権届を提出する（フィールド種目は不要）。
  - ④ 招集時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。
  - ⑤ 携帯電話等、競技規則に表記されている機器は競技場内に持ち込むことはできない。
  - ⑥ 上記の用紙、及び「リレオーダー用紙」は、招集所で配布する。

## 4 アスリートビブスについて

県の登録番号とし、各自で規格にあったものを作成、ユニフォームの上部2カ所、胸背部へ確実につけること。但し、跳躍競技の競技者は片方だけでよい。

## 5 競技場への入退場について

- (1) 全ての競技者の競技場への入場は、招集所のみからとし、他のゲートからの入場を禁止する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従って退場する。
- (3) 第1位から第8位までの入賞者は、入賞者控え所（入口ホール）に行く。

## 6 走路順およびフィールド競技の競技順序について

- (1) 各競技ともプログラムに記載されたレーン順及び試技順とする。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝のレーンはコンピュータの抽選による。

## 7 競技について

### (1) トラック競技について

- ① トラック競技は、全て写真判定装置を使う。
- ② 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走る。
- ③ WA競技規則の規定により、違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。  
この場合、他の種目との合算は無い。種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
- ④ 同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YC提示の累積は、当該種目のみに適用する。

### (2) フィールド競技について

- ① 競技場内の練習は、全て競技役員の指示に従う。
- ② 跳躍、やり投競技者は助走路の外側(走高跳は助走路内)にマーカーを2個まで置くことができる。  
サークルから行う投てき競技は、マーカーを1つだけ使用することができる。
- ③ 棒高跳の競技者は、「支柱移動申請書」をピットで受け取り、支柱の位置を記入し、公式練習が終わり次第、棒高跳び審判に提出すること。その位置を変更したいときには審判員に申し出ること。
- ④ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、優勝者が決まるまで次の通りとする。但し、気象状況や審判長の判断で変更する場合がある。

#### 【走高跳】

種目	練習	最初	次からのバーの上げ方			
男子 走高跳	1m65	1m70	75	…	95	以後は3cmずつ
女子 走高跳	1m35	1m40	45	50	55	以後は3cmずつ
十種 走高跳	1m45	1m50	55	…	70	以後は3cmずつ
七種 走高跳	1m15	1m20	25	…	50	以後は3cmずつ

#### 【棒高跳】

種目	練習	最初	次からのバーの上げ方			
男子 棒高跳	2m60	2m80	3m00	…	60	以後10cmずつ
女子 棒高跳	2m00	2m00	20	40	50	以後10cmずつ
十種 棒高跳	2m20	2m40	60	…	3m20	以後10cmずつ

⑤ 第1位が同成績の場合の順位決定のバーの上げ下げは次の通りとする。

走高跳…2cmずつ 棒高跳…5cmずつ (6位決定も同じ)

## 8 リレー競技について

予選・決勝のオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。

## 9 長距離・競歩競技について

競技運営上、制限時間を設ける。打ち切りの時間は次の通りとし、制限時間を超えた場合は次の周回に進むことができない。

種目	制限時間
男子 5000m	15分30秒
男子 10000m	34分00秒
男子 3000m SC	11分00秒
男子 5000mW	30分00秒

種目	制限時間
女子 5000m	19分00秒
女子 10000m	39分00秒
女子 3000m SC	13分30秒
女子 5000mW	35分00秒

## 10 表彰について

1位の競技者(チーム)に選手権章、8位までの入賞者(チーム)に賞状を授与する。表彰は競技終了後、直ちに行う。また、トラック優秀選手に饗場杯、フィールド優秀選手に飯室杯を授与する。そして、大会を通して最も優秀な選手に会長杯を授与する。

## 1.1 抗議・上訴について

- (1) 競技中に起きた競技者の行為又は順位に関する抗議は、結果の正式発表後30分以内（次のラウンドがある種目は15分以内）に、TICに口頭で申し出る。
- (2) 審判長の裁定に不服がある場合は、その種目の結果の正式発表後30分以内（次のラウンドがある場合は15分以内）に担当総務員を通して、ジュリーに預託金10,000円を添えて文書で上告する。この預託金は、抗議が却下された場合は返却しない。「上訴申立書」は担当総務員より受理すること。

## 1.2 競技用靴について (TR143・2~6参照)

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とする。但し、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。
- (2) 厚底シューズに関する規程については以下の通りとする。

種目	最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 全て	20mm	全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 全て	20mm	競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする（40mm）。

## 1.3 その他

- (1) 本大会は山梨県の国スポ予選を兼ねており、県外登録選手（ふるさと登録選手は除く）は国スポ予選には一切関係ないことを承知の上、出場すること。
- (2) 本大会で上位6名（チーム）は、2025年度の関東陸上競技選手権大会の出場資格を得る。出場辞退がある場合は繰り上げて出場資格を得る（混成競技と女子3000mSCは上位3名）。但し、男女とも5000m、10000m、5000mWは関東選手権の種目ないので、注意されたい。
- (3) トラック競技において招待選手等が出場したとき、CFを行う場合もある。
- (4) フィールド競技において招待選手等が出場したとき、トップ8の試技は8名を超えて行う場合もある。
- (5) 横断幕はスタンドの最上部のみ掲出を認めるが、通路をふさぐ取り付けは禁止する。また、個人名・企業名の入った横断幕は原則として禁止とする。
- (6) 写真等の撮影について、競技者を撮影する場合は以下の通りとする。
  - ① TICに撮影許可申請書を提出して許可を受け、ビブスを着用する（報道関係）。
  - ② TICに撮影許可申請書を提出して許可を受け、撮影許可書を携帯する（一般）。
  - ③ スタジアム（トラックフィールド）内での撮影は報道関係者のみとし、他はスタンドからの撮影とする。
  - ④ 山梨県の「公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為の防止に関する条例」に抵触する時は本部にて事情を聞く場合がある。
- (7) 商標については、TR「競技会における広告及び展示物に関する規定」を適用する。
- (8) TIC（総合案内所）等の業務及び提出書類は以下の通りとする。

	配布書類及び業務	提出及び受付場所	提出及び受付時間
1	記録証交付	TIC	隨時
2	遺失物保管	TIC	隨時
3	抗議申立（口頭）	TIC	正式記録発表後15分以内（予選/準決） 決勝は30分以内
4	観戦履歴用紙	TIC	競技場退場時
5	報道受付・ビブス配布	TIC	競技場来場時
6	撮影許可受付・許可書配布	TIC	競技場来場時
7	上訴申立書（文書）	大会本部	審判長の裁定後15分以内（予選/準決） 決勝は30分以内